

阻止！輸送弾薬持島

全口基地斗争に安保の反人民的人格を暴露せよ

全明反帝学評は66米軍タンク輸送拒否斗争に60名以上の固い団結にて参加し、果敢な実力阻止斗争を展開して、輸送阻止を介ちとしたことをまず報告したい。現在ベトナムでは、世界ブルジョアジーのおきだしの帝国主義的恣図（仏、英国は反対しているが、それは支配の方法が米国と違ふという点で反対しているにすぎない）に対して、ベトナムはじめてアジア人民は英雄的に立ち上っている。その彼らの不屈な斗争に脅威せしめられた世界ブルジョアジーの頭領アメリカ帝国主義は、あらゆる近代的殺人兵器を狂氣的に駆使して、ベトナムを血と硝煙の地に化しようとしている。そうした中でのジョンソンの和平提案は世界に平和の灯をともしたがにみえたが、結局はベトナム人民をラオスと同じように巧妙に貫徹された資本への隷属へと押し込め、ベトナム人民によるプロレタリア革命の萌芽を圧殺せんとしているワザであることを我々は見抜かねばならない。

そうい、たベトナム人民抑圧戦争の動向の中で、神繩をはじめとする日本にある米軍基地の存存が問題と化してなってくる。ジェット機や九大陸落事故は板付基地から毎日ベトナムに戦闘機が飛び立ち、ベトナムの非戦闘員をも含めた大量殺戮していることが証明され、また九州反帝学評を中心とする山田弾薬庫斗争にて、ベトナム人民を殺戮する弾薬が日本に運ばれていることが明るみに出たのである。

昨年の末上首相の訪ベトナム、訪米は、自帝が東南アジア人民抑圧の盟主として公然と具体化したものとしてあり、またアジア人民の斗争を圧殺する責任を安保条約に基づいて約束してきたことを知っている。つまり日米支配者はベトナム人民と連帯して階級的利害を支配者につまつける斗争に対して徹底した合理化（産学協同路線）をつまつけ、労働監獄と教育監獄を形成し、独占資本に隷属する兵のほし専向奴隷（期待される人）の像と、経済自害により産業にみあった人々の廃棄等をみよとして我々を単なる商品として支配しようとしているのだ。そして政府支配者は我々と同じ運命にあるベトナム人民と敵対せしめんとするであろうとしているのだ（国策労働者を使って弾薬を輸送させている）。以上のことを参考にしてベトナム人民を殺害する殺人兵器の弾薬を蔵する持島弾薬庫の存在を我々ははっきりと見抜かねばならないだろう。つまり持島倉庫の弾薬はベトナム人民にだけ向けられているのではなく、日本の我々学生、労働者に対しても向けられていることを見抜かねばならないのだ。全明の学友諸君、我々は七月一日の持島斗争の中で70年安保の反階級的、反革命的な性格を暴露し、中核派のように反米ナショナリズムにうらやまされた小ブル急進主義に対して自己を明確に区別した階級的実力阻止斗争として我々は展開してゆかねばならないし、社学同諸君のよう~~な~~な戦術だけの力も子エラウに対して自己を区別しなればならないだろう。学友諸君！持島弾薬庫阻止斗争に立ち上がるべきではないか。

自帝の階級的殺意物料！全

会評議生学反帝明全

630 12:00 中庭集会 4:00 早大結集会 後出陣 早朝持島斗争